

# 日本語で読む韓国エッセイ



何年か前から韓国のベストセラーにエッセイがランクされることが多くなりました。厳しい経済状況、出口の見えない就職難、悩みが増えていく人間関係などに疲れてしまった人々が心の余裕を取り戻すために癒し系のエッセイ本を求めた結果だと思われま。これまでのエッセイ本は「一生懸命に頑張れば何でもできる」「失敗は努力が足りなかったからだ」「私の努力は成功に繋がった。あなたも頑張れ」など内容が多かったのですが、最近では「自分」と「今」を大事にすることを強調しながら、疲れたときは休んでも良いと励ましてくれる内容が多くなっています。そのうち、日本にも正式に出版された癒し系の韓国エッセイを紹介します。

**死にたいけど  
トッポギは食べたい  
죽고 싶지만  
떡볶이는 먹고 싶어**  
ペク・セヒ作

# 2018年8月ベストセラー1位

# 幸せになりたい



10年以上気分変動症と不安障害を持った20代の女性、「私」が精神科専門医と12週間にわたって相談した内容を記録したエッセイ。他エッセイとは違って、医師と「私」の話が脚本のように書かれているのが特徴。作家の過去や成長、恋愛話などプライベートな話から始まるが、相談が重なってくることによって「私」は自分の内面と向き合いながら不安の原因を探していく。若い女性たちに特に人気を集め、2巻が発売された。

**私は私のままで  
生きることにした  
나는 나대로  
살기로 했다**  
キム・スヒョン作

# 自分らしく生きる方法

# 3年連続ベストセラー



「自分らしさ」を保ちながら生きるための「TO DO LIST」。自分自身を尊重しながら、自分らしさを捨てず、不安がらず、他人と共に生きていくために必要な心掛けについて伝える。作家自身の失敗、友達、知人の知人、近隣住民の話など、どこでもありそうな話を通じて私たちに励ましてくれる。その「普通」な話がSNSの口コミで反響を呼んで2017年から2019年まで「今年のベストセラー」に名を挙げた。

**あやうく  
一生懸命生きる  
ところだった  
ハマりゃ  
 열심히 살 뻔 했다**  
ハ・ワン作

# やりたいことにチャレンジする勇気

# 2018年今年の本に選定



「就職したら結婚、そのうちマイカーも不動産も持たないといけない！」的な、いわゆる人生マニュアルから少し離れることを決めた作家の話。他人の基準と評価に答えようと頑張りすぎて、本当にやりたかったことを諦める、もしくはやりたいと思っても失敗を恐れて避けしてしまうことがあるが、チャレンジする勇気を持つこと、もし失敗したとしてもまたチャレンジすればそれで良いと背中を押してくれる。



**作成者** 北九州市韓国国際交流員 姜 志守 (カン ジス)

春は小倉城の桜と河内藤園、夏は若松のアジサイと関門花火大会、秋は河内貯水池ともみじ谷の紅葉、冬はイルミネーションを楽しみながら北九州で生活中◎